

第32回福岡地域審議会会議録要旨

と き：平成28年6月28日(火) 午後2時00分から

ところ：福岡庁舎3階 大会議室

出席者

○ 高岡市 13名

高橋市長、村田副市長、草壁経営企画部長、水上総務部長、高畑福岡総合行政センター所長、二塚経営企画部次長（都市経営課長）、柴田財政課長、小崎産業建設課長、岩崎市民生活課長、佐伯福岡まちづくり推進室長、池田福岡まちづくり推進室総括専門員、谷内福岡教育行政センター所長、川尻地域振興課長

○ 委員（50音順） 14名

石王 誠委員、大橋仁美委員、神庭あゆみ委員、竹島寿美委員、谷口義明委員、中田正敏委員畑 幸恵委員、林 隆三委員、宮崎三郎委員、宮崎真紀子委員、村上委千子委員、山岸俊清委員、山崎 博委員、米田裕子委員

○ 欠席者 1名

張田 真委員、

開 会

1 開会

【事務局】

本日は、お忙しい中ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。
ただいまから、第32回福岡地域審議会を開催いたします。

2 会長挨拶

【事務局】

それでは、山崎会長からご挨拶をお願いいたします。

【会長】

第32回地域審議会を開催するにあたりまして、高橋市長、村田副市長をはじめ関係部課長の皆様には、大変お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

本日は11月の第33回福岡地域審議会への答申に向けまして、この10年間の高岡市新市建設計画の内、福岡地域における取りまとめを総括しまして、今後の福岡町のまちづくりに向けて意見を取りまとめるための会合でございます。事務局の方から10年間の主な事業の概要、事業費や事業量、合併特例債の使用額等について総括的な報告を受けまして、その後各委員からご意見を頂戴するということにしたいと思えます。

そして7月から10月に開催いたします会合につきましては、答申に向けての意見取りまとめをしていきたいと考えております。事務局の方から説明を頂きました後、委員の皆様方には活発なご意見を頂戴したいと思えます。開会にあたりまして一言ご挨拶といたします。

3 市長あいさつ

【事務局】

続きまして、高橋市長からごあいさつを申し上げます。

【市長】（市長あいさつ）

第32回地域審議会の開催に当たりご挨拶いたします。

山崎会長様をはじめ審議委員の皆様には、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

日頃より、皆様には本市の諸事業推進にご理解とご協力いただき、深く感謝申し上げます。

北陸新幹線開業から1年余りが経過し、市内の各観光スポットには多くの方々に訪れていただいております。今年の高岡御車山祭や伏木曳山祭にも前年度に比べ多くの観光客の方にお越しいただき、大いに賑わったところであります。

このような中で先月、夏の臨時便ダイヤが発表され「かがやき」臨時便が引き続き9月末まで継続運行されることになりました。新高岡駅の利用促進に向け、ご支援ご協力をいただいた県西部地域、更には飛越能地域の自治体や関係団体に対し、深く感謝申し上げます。また、「かがやき」の定期便化には今が正念場であり、引き続き新高岡駅利用促進のための対策を展開してまいりますので、地域審議委員の皆様には、改めてご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、4月末に日本遺産の構成文化財として「越中福岡の菅笠製作技術」、「菅笠問屋の街並み」が文化庁に追加認定され、日本遺産を構成する文化財は合計37件となったところでございます。福岡地域からの認定は初めてであり誠に喜ばしい限りでございます。

また、先月28日には、福岡駅前に待望の「福岡にぎわい交流館」（フクール）がオープンしております。施設の名称にあるように福岡地域の更なるにぎわいの創出に寄与することを期待しております。

現在、市では平成29年度を始期とする第3次総合計画策定に向け今月3日には、総合計画審議会から、基本構想の答申を受け、6月定例議会にて議決を得たところでございます。

基本構想では、まちの将来像を「豊かな自然と歴史・文化につつまれ 人と人がつながる市民創造都市 高岡」とし、人口減少・少子高齢社会において次代を担う創造性豊かな市民が育ち、互いの知恵を出し合いながら、すべての人がそれぞれの能力を生かして自立し、地域の活力を創り出すまちづくりを目指してまいります。

福岡地域の皆様をはじめ市民の総意で共に創る元気なふるさと高岡の実現に向け邁進してまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

本日の地域審議会は、新市建設計画における福岡地域主要事業の10年間の取り組み状況や平成28年度予算における福岡地域の主な事業などについてご報告いたしますので、ご出席の審議委員の皆様には、忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

4 議 事

【事務局】

ありがとうございました。

それでは、ここで、市からの出席者を紹介させていただきます。

（市出席者の紹介）

只今から議事に入りたいと思います。

なお、議事に入る前に本日の審議会への欠席連絡を張田委員から事前にいただいておりますので、ご報告申し上げます。

本日の会議は、委員定数15人のうち14名の出席をいただいております。地域審議会設置規定第8条第4項に規定する過半数を超えていますので、本日の会議は成立していることをご報告いたします。

それでは、地域審議会設置規定第8条第3項の規定により、議長は、会長が務めるこ

ととなっておりますので、山崎会長よろしくお願いいたします。

4 議 事

(1) 報告事項

それでは、今回の「地域審議会」議事案件は、【報告事項】として3件、【その他】1件となります。

それでは、報告第91号福岡地域審議会審議経過について、及び報告第92号福岡地域主要事業（新市建設計画のまとめ）については関連性がありますので合わせて報告願います。

【地域振興課】

地域振興課長の川尻です。

報告第91号及び報告第92号について説明させていただきます。

資料No.1をご覧ください。

◇説明内容

資料No.1 福岡地域審議会審議経過について

資料No.2をご覧ください

報告第92号新市建設計画における福岡地域の主な事業状況(H18~H27について)説明させていただきます。

◇説明内容

<配布資料>

資料No.2 新市建設計画における福岡地域の主な事業状況（H18~H27について）

【山崎議長】

それでは、ただ今、報告のありました、「報告第91号福岡地域審議会審議経過について」並びに「報告第92号福岡地域主要事業のまとめ」について、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。

【大橋委員】

10年間で58項目の事業の進捗状況の報告がされましたが、合併当初に作られた事業計画では福岡地域分ではどれくらい計画されていたのか、また計画の中のどの程度進んだと考えているのでしょうか。

【川尻課長】

平成17年2月に高岡市福岡町合併協議会で新市建設計画が策定されました。普通会計のハード事業で約900億円の計画であり、福岡地域はそのうちの200億円あまりの計画でした。進捗状況については駅前土地区画整理事業など一部の事業については継続になっているものもありますが、当初計画していた事業、新たに計画に加えた事業を含めるとほぼ計画通りに進んでいたと考えています。事業費については183億円余りとなります。

【畑委員】

駅前地区土地区画整理事業とは具体的にどのようなことをしてきたのか、継続事業となっているが、今後いつまでにいくら使ってどのような形になるのでしょうか。

【佐伯室長】

福岡駅前土地区画整理事業については平成23年7月の仮換地指定後に本格的に事業に着手しており、物件移転補償や工事などに経費を費やしてきました。また事業完了年度が当初計画では平成30年度になっていたが、仮換地指定が当初の計画より2年遅れたため、今年度事業計画を変更し事業完了年度を平成32年度に延長することを検討しております。平成27年度までの進捗率は事業費ベースで約51%となっており、今後については国、県の補助金を活用しながら事業を進めていきたいと考えております。

【村上委員】

合併特例債は市全体で180億円だったと聞いています。福岡と高岡で半分ずつ使えるという約束になっていたと思うが、合併特例債の90億円はどこに使われたのか教えてください。

【草壁部長】

合併特例債は合併した市町村に対し新市建設計画に掲げた事業について起債が認められるものです。充当先については福岡地域の市道の整備や土地区画整理事業、小学校の改築や教育施設等の事業に充当されています。

【林委員】

市民と市政5月号に公共建築物とインフラについてこれまでどおり維持していくことが困難である旨が記載されていました。また現在の施設の総量を維持したままこれまで通りの行政サービスを行うことは財政的に不可能であると記載されていました。これまで多額の投資を行ってきた物が維持できないというのは大きな問題であると考えます。これからは新しい建築物ができないと理解すればいいのか。集会所の維持管理は自治会で運営しているが大きな修繕を行う場合は3割の補助があるのか、それもなくなってしまうのでしょうか。

【草壁部長】

公共施設等総合管理計画を3月に策定しました。策定した背景には、今後の人口減少が避けられないという現状と昭和40、50年代に整備してきた公共建築物が一斉に更新時期を迎える状況を踏まえて、公共施設のあり方を市全体で考えていく必要があります。公共施設等総合管理計画には、施設の総量の適正化、長寿命化の推進、施設の有効活用という3つの方針を掲げています。この方針を実現するために、公共施設全体の現状把握を進めており、今年度中に公共施設白書という形でまとめ公表したいと考えています。現状把握も踏まえながら今後の方針について考えていきたいと思っております。

【川尻課長】

集会所の状況と利活用について市の方針に従ってまとめているところです。3割補助をしている集会所の修繕については補助率、補助事業の存廃、仮に廃止となる場合はその時期について今後検討していくことになっております。

【米田委員】

10年間の下水道の進捗状況はどうなっており、今後どうなりますか。

【川尻課長】

合併後、特定環境保全公共下水道事業で赤丸地区、大滝地区全域、山王地区の一部を整備してきました。今後は矢部、小伊勢領、西川原島地区を整備する予定です。下水道の普及率については平成27年度末で69.8%となっており、事業費についてはこの10年間で26億2,400万円、延長26km余りを整備しております。

【宮崎三委員】

淵ヶ谷小学校が廃校になり、その代替えとして山間地と都市部の交流の場として五位山交流館の完成により過疎地域の活性の場になっています。山間地では活気ある地域育成を目指しているため引き続き支援をお願いします。

家族旅行村山ぼうしは、山間地域の雇用の場にも影響しており、山間地域の活性化に大きく貢献しているため、維持管理に多額の経費が掛かると思うが五位山地域のシンボルとして大切な施設だと思つたので引き続き運営をお願いします。また、最近熊の出没が多く憂慮しております。対策についてご検討をお願いします。

【小崎課長】

今後とも五位山地区の活性化に向けて協議会の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思つています。熊の問題については、出没のたびに市や関係機関とパトロールを行い注意を呼び掛けているところです。有害鳥獣の駆除と県の許可を取つて対策をとつていくことで一歩進めたところです。

【宮崎眞委員】

高岡市における特別養護老人ホームの待機者の人数を教えてください。その解消に向けて第6期介護保険事業計画はどのように考えているのでしょうか。

【川尻課長】

本市の要支援、要介護の認定者数は年々増加傾向にあります。介護の度合いに応じて適切なサービスが受けられるように必要な介護サービスの確保に努めているところです。特別養護老人ホームについては、特にニーズが高く市内に14か所ある施設は、恒常的に満床状態が続いています。第6期介護保険事業計画では特別養護老人ホームの待機者を100人と見込み、その解消に向けて社会福祉法人や県と調整して必要な施設整備を図ることとしております。できる限り住み慣れた地域で介護サービスを受けることができるよう定員が29名以下の地域密着型の小規模老人ホームを整備することを計画の中に謳っています。

【宮崎眞委員】

西明寺パークゴルフ場の利用状況について教えてください。

【谷内所長】

平成27年度の利用者は14,112人、開館日数が209日だったので、1日平均67.5人の利用がありました。

【宮崎眞委員】

駐車場が足りないため、山ぼうしやこぶし荘にあるようなバスが駅から出ることというようなことはできないか。

【谷内所長】

大きな大会の際は臨時的に福祉バスを運行できるような対策を検討したい。駐車場が手狭なので来場者にはできる限り乗り合わせで来ていただけるようお願いしていきたい。

【中田委員】

今後小矢部川のハザードマップの見直し作業と関連して、黒石川の改修について大きな災害が起きる前に対策を講じてもらいたい。

【水上部長】

国土交通省の洪水予想はこれまでも発表されていたが1,000年規模の災害を想定してシミュレーションを行い庄川が破堤した場合の被害について発表されたところです。高岡市のハザードマップは小矢部川と庄川が同時に破堤した場合を想定して作られ

ており、小矢部川は破堤した場合の影響が発表され次第、新しいハザードマップの作製について検討していきたい。

【川尻課長】

県の管理河川である黒石川については、小矢部市の岡地内で整備されている状況です。下流に影響の起きないことを想定した河川改修であると聞いています。本市としても、黒石川の改修は必要であると考えており、事業が促進されるよう、毎年県に重点要望として要望しているところで地元の皆さんのご理解もお願いしたい。

【畑委員】

地震や火事があった場合、町中は消防車が入れなかつたり行き止まりがあつたりする現状です。駅前には広がってきているが、実際にそのようなことがあつた場合、どうやって避難したりするのか安全性について考えてもらいたい。まちづくりにおいて防災対策を取り入れて考えてもらいたい。

【川尻課長】

要望としてお聞きします。

【山崎議長】

そのような問題も含めて今後提言の中で検討していきたいと思います。

【林委員】

福祉専門学校の整備補助事業が事業計画の中でただ1つ計画廃止となっているが、福岡で計画廃止になったということは、どこか別のところで建設されているのか。高岡駅前で建設されているものがそうなのでしょうか。

【川尻課長】

合併前に福祉専門学校を建設したいという話があつたが、合併後早い段階で事業者から取り下げたいという話があり、事業計画を廃止したという事業経過が議事録に残っています。高岡駅前で建設されている専門学校とは別です。

【神庭委員】

バスを3台更新したとありますが、これはノンステップバスなのかそれとも階段を上らないといけないバスなのか。今後市のバスをノンステップ化していく予定はあるのでしょうか。

【川尻課長】

公営バスについては、定期的に更新しています。平野部を走るバスについてはノンステップバスで更新しています。五位山線や花尾線など山間地の雪の多い場所を走るバスについては、ノンステップバスにすると車高が低いため、動けなくなる可能性があり、ワンステップのバスで更新しています。平野部のバスについては、小学校の子どもたちが通学に利用しているため、79人乗りの大型バスになるため整備された道路でないと走れないという状況にあります。平野部と山間部で考え方を変えながら更新しているところです。

【竹島委員】

福岡にぎわい交流館が建設されたが、中まで入ってくる人があまりいなかった。せっかく休憩場所があるので喫茶店のような店があればいいのではないかと。菅笠が展示されているが、菅笠についての説明や販売場所の記載もなかった。販売場所を掲示したりする計画はあるのでしょうか。

【佐伯室長】

菅笠については、そのように対応させていただきます。お茶を出す店については出店者が見つからなかったという現状があり、現在のような状況になったものです。今回の指摘を受けて今後検討していきたい。

【山岸委員】

にぎわい交流館の前に駐車場がありますが、舗装されている場所と土砂のままの場所がありますが将来的にどのような形になるのか。

【佐伯室長】

現在舗装してある場所については、駅前の交通広場になり現在の駅前の面積の約4倍の広さになります。石動駅のようなロータリーになります。にぎわい交流館前の碎石が引いてある部分については、にぎわい交流館の広場を想定しています。

【村上委員】

今、駐車場があるところがロータリーになるということで、駐車場はどこにできるのでしょうか。

【佐伯室長】

JAいなばの前にある駐車場がにぎわい交流館の駐車場になります。

【村上委員】

50年ほど前に各地区にあった小学校が統合したことにより公営バスが必要になったと思っております。大滝から小学校まで歩くと、大人の足で30分位かかるので、新1年制の足だと40～45分位かかると思います。さらに遠くの子どもたちもいるので公営バスは必要不可欠であると思っております。より安全安心な体制で運行をお願いします。バス停の中には錆びているバス停があります雨や雪をしのげるバス停の整備をお願いします。冬季に通学時に除雪が間に合わず子どもたちが車道を歩いて通学しており大変危険な状態です。バス路線や通学路の除雪を優先的にお願いします。

【川尻課長】

公営バスは現在運行を交通事業者に委託しております。日頃、連絡を密にとり安全安心な運行に心掛けております。福岡小学校が統合して以来、バスを利用した通学体系となっており、大型バスについては定期的な点検を行っており不都合があればすぐに修繕を行い安全を確保しております。バス停についても少しずつではありますが、不都合箇所について修繕を行っているところです。バス路線については、基本的に消雪路線中心としたコースを定めて運行しています。除雪につきましては、関係課と連絡し対応を行い遅れないように運行していきたいと思っております。歩道除雪やバス停までの除雪については全て市で賄うことは不可能であると考えております。地元の自治会やPTAの皆様にもご協力いただき、子供たちが安心して通学できる状態に皆さんと協力して進めていきたいと考えております。

【山崎議長】

まだご意見のある方もいらっしゃると思いますが、時間の関係もありますので、本日もみなさんからいただくご意見についてはここまでとしたいと思います。

それでは「報告第93号平成28年度予算における主な事業」について報告いただきたいと思います。

【川尻課長】

資料No.3をご覧ください。「報告第93号平成28年度における主な事業について」でございます。

◇説明内容

〔 <配布資料>
資料No.3 平成28年度予算における主な事業 〕

【山崎議長】

この件について何かご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

【竹島委員】

「(2) 魅力ある観光のまちづくり」についてですが、にぎわい交流館の1階のテレビに福岡町をアピールするような映像を流していただけないでしょうか。常時流さなくても見たい時にスイッチを入れれば見られるようにしていただけるといいと思います。

【佐伯室長】

現在もCDを入れれば観光案内を流すことは可能な状態です。

【竹島委員】

説明を聞いた人はわかりますが、初めて来た人はわからないと思うので、わかるようにしてほしい。

【佐伯室長】

検討させていただきます。

【山崎議長】

他に何かご意見はありますか。ないようでしたら次に進ませていただきます。

次に、その他の方に入らせていただきます。「新市建設計画の福岡地域における主要事業に関する「意見書」の提出に向けた会議日程について」事務局より説明願います。

【川尻課長】

次回第33回の地域審議会で意見書を取りまとめて提出したいと考えております。

◇説明内容

〔 <配布資料>
参考 新市建設計画の福岡地域における主要事業に関する意見書の提出について 〕

【山崎議長】

今説明のあった意見書の提出についてなにかご意見のある方はいらっしゃいますか。特にないようでしたらそのほか事務局から連絡事項等ありますでしょうか。

【川尻課長】

事務局からは特にありません。

【中田委員】

議事が終わったということで、少しお願いしたいことがありまして発言させていただきます。

お墓を持たない方が亡くなられた方のお骨を収める場所がない、お墓があっても維持していく方がいないという問題が市が管理している墓地であると思いますが、地域の墓地でもあります。合同墓を公営で整備してもらえるとありがたいと思います。近隣では富山市や上市町で公営の施設が整備されていると耳にしています。高岡市でもご配慮お願いします。

【山崎議長】

地域内にはそういった悩みもあるということで、またご検討をお願いします。

本日は市当局の方から、新市建設計画の福岡町地域における10年間の取りまとめを報告していただきました。10年前に計画されたことが概ね実行されたという報告でありましたけれども、この10年間前市長の橋市長、現市長の高橋市長に引き継がれまして大変沢山の事業をやっていただきました。その間事業に関係いただきました、市の関係者の皆さんにはその間本当にご苦勞であったろうと思ひまして心から感謝申し上げます。これで福岡地域の問題がすべて終わったということではありませんので、今後とも福岡地域に温かいご支援をお願いします。11月の審議会では委員の思いを込めまして意見書を提出したいと思ひますのでよろしくをお願いします。

最後に市長さんの方からコメントがありましたらお願いします。

【高橋市長】

今日は長時間にわたりご意見を頂きましてありがとうございました。それぞれご説明させていただきました事業について精査いただいて、いろいろとご指摘を頂きました。私どもも一生懸命やっておりますけれども、至らないというか気づかないところもございます。運用の在り方や進め方について住民の皆さんの目線、あるいは土地を知らない方の目線とか、いろんな目線で物事を考えていかなければならない、そういう方に対する思いやりというか気付きを運用の中で示していかなければならないと思ひながらお聞きしておりました。これから審議会の皆さんには、提言という形でおまとめいただく作業に入っていただくことになろうかと思ひます。今日いろいろと説明いたしましたけれども、さらに深掘りしていただいて、今後の在り方等についてご意見をまとめていただいてご提言として整理していただければありがたいかなと思ひます。この10年、新市建設計画というのは合併にあたっての一種の相互の契約でございます。契約したことをしっかり守っていくことを旨として進めてまいりました。委員の皆さんでいろいろとご議論いただいて、今後の有り様というものを検討賜れば幸いかと思ひしております。大変密な審議日程をご提示申し上げましたけれども、一つよろしくお願ひ申し上げます。この次の審議会ではそういうことを踏まえたご審議を賜れば幸いです。本日はまことにありがとうございました。